

基本的な文化振興施策

基本的な施策の主な方向

◎：県民アンケート調査結果から重点的に取り組むべき施策

1 自主性、創造性及び多様性の尊重

多様な文化活動を行っている県民同士が、それぞれの文化活動を尊重し合うよう、多様な文化に対する理解を深めるための施策に取り組みます。

・文化の振興に当たっては、文化を創造し、享受することが人の生まれながらの権利「文化的権利」であることを踏まえ、文化活動を行う者又は文化活動を行う団体の自主性、創造性及び多様性が十分に尊重されなければなりません。

【主な施策】

・群馬県文化基本条例の周知

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

1 文化活動の自主性及び多様性の尊重に関する事業

9,222千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		文化づくり環境創造事業	群馬県文化基本条例の制定を受け、条例制定の周知事業を実施するとともに、文化振興指針を策定する。	9,222	

2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備

県民が芸術文化を鑑賞する機会（受動的機会）や県民が自主的に文化活動を行うための機会（能動的機会）の充実などに取り組みます。

また、県民一人一人が自主的に文化活動に参加できるような環境の整備などに取り組みます。

(1) 芸術文化の振興

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術文化、茶道、華道、書道その他の生活に係る芸術文化の振興、囲碁・将棋などの国民的娯楽の普及を図ります。また、映画などのメディア芸術の振興を図ります。

・新たな支援の仕組みを導入し、芸術文化の水準向上に直接的な牽引力となる創造活動に支援を行うなど、本県の顔としての全国に誇れる芸術文化の振興を支援します。

・県内トップレベルの芸術文化団体と文化ホール等の地域の文化芸術拠点とが連携した特色ある取組など、優れた芸術活動を支援します。

・優れた芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術文化の創造の推進に資する芸術祭等の充実を図ります。

・幅広く多様な芸術文化を振興し、その普及を図る活動等に対し、群馬県文化振興基金による助成事業等を行います。

・より多くの県民に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、ベイシア文化ホール（群馬県民会館）における公演の充実を図ります。

【主な施策】



○県民の文化活動の充実

- ・県民が自主的に文化活動を行うための機会及び情報の提供を行います。
- ・各地域における創造活動等を支援し、地域住民の文化芸術活動を行う参加を促進します。
- ・県民が身近に文化芸術を享受できるよう、各地域における様々な文化芸術の公演、展示等に対する支援を行います。

○創造性豊かな地域づくりの推進

大学や民間企業等との連携・協働により、地域文化を振興するとともに、文化芸術の創造性や魅力を教育、福祉、観光・産業等の分野に活用し、地域の活性化を図る取組を促進します。

○身近な場所での鑑賞機会の充実

- ・アウトリーチ活動の促進
地域に密着した学校、公民館などに芸術家や芸術団体が出張して、公演や講座等を行うことにより、文化施設に足を運ばなくても、文化芸術体験ができるよう、アウトリーチ活動を促進します。
- ・アーティストボランティア活動の充実
社会福祉施設や病院などに長期入院、入所している方など文化施設に出掛けることが方に、音楽等を鑑賞する機会を提供する取組を促進します。
- ・あらゆる場の活用
公園など公共空間でのストリートミュージシャンの演奏、公共施設や空き店舗、商店街におけるコンサート・展覧会の開催、県民がより身近な場所で文化芸術に親しむ取組を支援します。

◎ (2) 群馬県特有の文化の振興

郷土に対する誇りと愛着を深め、地域の絆を強め、豊かな郷土づくりにつながるような、群馬交響楽団や上毛かるたなどの群馬特有の文化の創造、育成、発展に取り組みます。

【主な施策】

- ・東国文化周知事業の実施
- ・群馬交響楽団への支援
- ・上毛かるたを活用した事業の実施

・群馬の経営計画に基づいて記載

【目標・指標（H27）】

〔東国文化周知事業の実施〕

- ・副読本「群馬の歴史文化遺産（東国文化）体験学習教材」を活用した校外学習の実施件数 200件
- ・周知イベントの参加人数 延べ5,000人

〔群馬交響楽団への支援〕

- ・定期演奏会平均入場者数 1,400人
- ・幼児対象移動音楽教室開催件数 15回

〔上毛かるたを活用した事業の実施〕

- ・副読本「『上毛かるた』で見つける群馬のすがた」の販売部数 10,500部
- ・ガイドマップ「『上毛かるた』ゆかりの地文化めぐり」の販売部数 10,500部

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(2) 群馬特有の文化の振興に関する事業

7,860,500千円

番号	部署名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課	○	東国文化周知事業	古代の東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大園である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用を図る。	7,000	
2	生活文化部	文化振興課		県民芸術祭委託 (ぐんま郷土芸能の祭典)	県民の積極的な文化芸術活動への支援と優れた芸術鑑賞の機会を提供し個性豊かで新しい県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典。	52,101	【再掲】
3	生活文化部	文化振興課		群馬交響楽団支援	県民の財産である群馬交響楽団を支援し、各種演奏会などの活動を通して県民に音楽に親しむ機会を提供する。	266,488	【再掲】
4	健康福祉部	国保課		群馬県戦没者追悼式	「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である8月15日に戦没者追悼式を実施し、先の大戦においてなくなられた方々を追悼し平和を祈念する。	5,453	
5	産業経済部	商政課		中小企業パワーアップ資金 (地域経済活性化要件)	地場産業や伝統的工芸品産業の振興の視点から、地域の振興や地域経済の活性化に資する事業を行う中小企業者を対象に、運転・設備資金を融資するもの。	7,529,458	融資枠 50億円

- ・本県特有の文化である「上毛かるた」の活用を図り、郷土への愛着や誇りを育みます。

(3) スポーツ文化及び科学の推進

県民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるような機会の充実などに努める。また、県民が自然科学に親しめる機会の提供などに努めます。

【主な施策】

- ・ 県立博物館の科学に関する展示などによる鑑賞機会の提供

【目標・数値（H27）】

〔県立博物館の科学に関する展示などによる鑑賞機会の提供〕

- ・ 夏休みスタンプラリー達成者数 1,000人
- ・ 年間入館者数 500,000人

* 上記数値は、県立5館の数値目標

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(3) スポーツ文化及び科学の推進に関する事業

7,478千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	企画部	企画課		科学技術理解の増進	こども科学教室、科学技術セミナーの開催 夏休みイベントカレンダーの配布	699	
2	教育委員会	スポーツ健康課		社会体育大会開催派遣	ぐんま県民マラソン開催 群馬県小学生総合体育大会開催補助 群馬県民体育大会開催 等	6,789	

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		自然史博物館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	265,081	

(4) 高齢者の文化活動の充実

高齢者が文化活動の重要な支え手であることを踏まえ、高齢者が行う文化活動の充実を図るとともに、高齢者が文化活動において活躍できる場の提供などに取り組みます。

○障害者が文化活動に参加しやすい環境づくり

障害者が文化活動に参加しやすく、文化に親しむ機会の充実や障害者の文化活動が活発に行われるような機会の提供などに取り組みます。

- ・高齢者、障害者、子育て中の保護者等の文化活動を支援する活動を行う団体等の取組を促進します。

○学校教育における文化活動の充実

・本県の優れた文化芸術など本物に触れる体験学習や鑑賞機会の充実を図り、郷土に対する理解を深め、群馬のすばらしさを誇りに思い、愛着を育みます。

○青少年の文化活動の充実

青少年を対象とした文化活動の場や機会の充実を図ります。

【主な施策】

- ・ 障害者に対する県立博物館入館料の無料化の実施
- ・ 施設製作品展示事業の委託
- ・ 身体障害者スポーツ・文化助成の実施
- ・ 障害者週間記念事業の実施
- ・ こころのふれあい・バザー展の開催

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(4)ー1 高齢者の文化活動の充実に関する事業

11,700千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		伝統文化継承事業	地域の絆により、古くから県内各地で伝えられ、守られてきた地域の伝統文化を継承していくための活動を支援する。	11,700	

(4)ー2 障害者の文化活動の充実に関する事業

2,690千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	健康福祉部	障害政策課		施設製作品展示事業委託 (啓発広報推進)	県内知的障害者施設利用者の製作品の展示事業を(社)群馬県知的障害者福祉協会への委託により実施。	700	
2	健康福祉部	障害政策課		身体障害者スポーツ・文化助成 (障害者社会参加推進センター運営委託)	主たる会員が身体障害者の団体によるスポーツ・文化活動への取組を助成するために(社)群馬県身体障害者福祉団体連合会が行う助成事業について経費の一部を補助。	880	
3	健康福祉部	障害政策課		障害者週間記念行事	「障害者週間」(12月3日～9日)を記念し、障害者に対する県民の理解を深めるため、障害者作品展などを実施。	926	
4	健康福祉部	障害政策課		こころのふれあい・バザー展	精神障害者に対する県民の理解を深めるとともに、精神科病院の入院患者の社会復帰に資するため製作品の展示・販売行事を開催。	184	

(5) 文化施設での優れた芸術文化の鑑賞機会の充実

多様化する県民ニーズに対応できるよう、県立の文化施設の設置者等が公演を自主制作し鑑賞の機会を提供するなど文化芸術の創造活動などの拠点となるよう取り組みます。また、より効率的に県立の文化施設の維持・管理・運営ができるよう努めます。

・その居住する地域にかかわらず文化芸術に触れることができるよう、多彩な文化芸術の鑑賞機会を充実します。

・地域の特色ある文化芸術活動を推進するため、文化芸術拠点における意欲的な活動を支援するとともに、特色ある取組の発信・発表の機会の充実を図ります。

【主な施策】

- ・ 県立博物館での各種展示の実施
- ・ 県立文化会館での各種芸術事業の実施
- ・ 県民芸術祭の開催（鑑賞機会の充実、自らの活動を発表する機会の提供）
- ・ 県ホームページを活用した文化進行に関する情報提供の実施
- ・ 県立美術館・博物館において地域の文化資源を活かした企画力のある高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施
- ・ 県立美術館・博物館、文化ホールなどの維持修繕の実施

○県立文化ホール（ベシシア文化ホール（県民会館））の充実

・文化ホールが、優れた文化芸術の創造、交流、発信の拠点や、地域住民の身近な文化活動の場として積極的に活用され、その機能・役割を十分に発揮できるよう取り組みます。

・文化ホールにおける創造活動や、芸術科、アートマネジメント担当者、舞台技術者等への研修等への支援、情報提供等を充実するとともに、他の文化ホールと連携した活動を促進します。

○県立美術館・博物館の充実

・本県の文化振興の中心的な拠点として、県民の感性を育み、新しい文化活動を推進するため、県立美術館・博物館の機能の充実を図ります。

・県立美術館・博物館が優れた文化芸術の保存・継承、創造、交流、発信の拠点のみならず、生涯学習活動、ボランティア活動や観光等の拠点としての積極的に活用され、県民の文化活動の場やコミュニケーション、感性教育、地域ブランドづくりの場として、その機能・役割を十分に発揮できるよう様々な施策に取り組みます。

・県内各地域の貴重な文化資源を計画的・戦略的に保存・活用を図るため、美術館・博物館、図書館、文書館等の連携を強化します。

- ・厳しい財政状況の中、メリハリのある企画展の開催
- ・県立美術館・博物館の生命線ともいえるべき美術品等の購入
- ・優れた美術作品、文化財等を積極的に保蔵・公開するため、収蔵品目録の整備を進めるとともに、デジタル画像等のアーカイブ化を促進します。
- ・県民目線の館運営を推進するため、事業評価の導入。

○施設の長寿命化と安心・快適な空間の提供

【目標・数値（H27）】

〔県立博物館の科学に関する展示などによる鑑賞機会の提供〕

- ・夏休みスタンプラリー達成者数 1,000人
- ・年間入館者数 500,000人
- *上記数値は、県立5館の数値目標

〈県立美術館・博物館の入館者数の推移〉

平成14年度が、館林美術館が開館した翌年あたり、入館者数52万4千人でピークをむかえ、以降減少傾向が続き、平成19年度には、近代美術館の臨時休館もあり、35万2千人まで減少した。

ここ数年は、増加傾向にあり、平成23年度には、50万5千人まで回復した。

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(5) 文化施設の機能の充実に関する事業

1,101,722千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		近代美術館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	220,345	
2	生活文化部	文化振興課		館林美術館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	164,191	
3	生活文化部	文化振興課		歴史博物館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	89,007	
4	生活文化部	文化振興課		自然史博物館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	285,001	
5	生活文化部	文化振興課		土屋文明記念文学館運営	地域の文化資源を活かした企画力の高い展示会や、学校や県民の学習の支援となる教育普及事業等を実施する。	74,672	
6	生活文化部	文化振興課		文化施設活用推進	夏休みスタンプラリーや事業評価システム等により、県立美術館・博物館等への利用促進を図る。	4,607	
7	生活文化部	文化振興課		美術館等調査研究費	県立美術館・博物館等の次年度以降の展示準備のために、作品の出品交渉や調査研究を行う。	5,074	
8	生活文化部	文化振興課		県立文化施設管理	指定管理者に委託し、群馬県民会館等の管理運営を行う。	138,745	
9	生活文化部	文化振興課		文化施設維持整備	県民の文化施設利用環境を維持向上させるため、県立の美術館・博物館等及び文化ホールの維持修繕を行う。	120,000	

(6) 県民が練習や発表など文化活動を行う場所の充実

県民に身近な文化活動の場を提供するため、各地域における文化施設、学校施設、社会教育施設等を利用しやすくできるように努めます。

・各地域の文化施設や公民館等の社会教育施設について、地域の芸術家、文化団体、住民等が円滑に利用しやすい運営の促進に努めます。

・学校施設については、学校教育に支障のない限り学校教育以外の利用が認められていることや、学校教育に利用される見込みのない教室や廃校施設については、様々な用途への転用が可能となっていることを踏まえ、地域の芸術家、文化団体、住民等の公園・展示や練習の場として、また、文化芸術作品等の保存場所としての利用の促進に努めます。

〈事例〉

- ・伊参スタジオ（中之条町）
- ・下仁田自然学校（下仁田町）

・学校や文化施設以外の様々な施設において、地域の芸術家、文化団体、住民等の文化活動への幅広い利用の促進に努めます。

・大学等の教育機関や県立の文化施設等における文化芸術に係る教育及び研究の充実を図ります。

・文化団体、教育研究機関等が連携し、計画的・系統的な人材の育成を図ります。

3 県民の文化活動の支援体制の充実

県民や企業、大学などと協働して文化振興施策を推進するための支援体制の整備します。

(1) 文化活動に係る研究教育機関等の充実

文化に関する調査研究の充実を図るため、研究教育機関の機能の強化に努めます。

- ・大学等の教育機関や県立の文化施設等における文化芸術に係る教育及び研究の充実を図ります。
- ・文化団体、教育研究機関等が連携し、計画的・系統的な人材の育成を図ります。

(2) 文化活動に対する企業の支援の促進

企業が県民の文化活動を尊重し、理解し、支援しようとする気運が醸成されるように努めます。また、企業による県民の文化活動への支援を促進するための環境の整備に努めます。

〈事例紹介〉

- ・企業メセナ群馬
- ・ベイシア21世紀財団

【主な施策】

- ・文化活動を積極的に支援する企業に対する顕彰制度の新設

4 文化の継承及び発展を担う人材の育成

県民の文化活動が自主的に行われ、継続し、発展していくために必要な人材の育成などに取り組みます。

◎ (1) 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会の提供

子どもたちが文化芸術を体験し、文化芸術を創造する機会の提供などに取り組みます。

また、学校教育における文化活動の充実を図るため、文化に関する体験学習など文化に関する教育を充実します。また、文化団体などによる学校での文化活動を支援します。

・次代を担う子どもたちに豊かな創造性、感性等を育むため、できるだけ幼い頃から、子どもたちが多彩な優れた芸術、伝統文化や文化財に親しむ機会を充実するとともに、教育委員会や文化施設、文化団体等が実施する取組を推進します。

<事業例を紹介>

- ・群馬交響楽団による「幼児移動音楽教室」
- ・県立近代美術館の親子優先時間帯「ファミリータイム」

・青少年を対象とした文化活動の場や機会の充実を図ります。

・子どもたちに文化芸術や伝統文化を指導、助言できる人材の育成や確保を促進します。

・学校等と連携しつつ、県立美術館・博物館における教育普及活動を充実することで、子どもたちの文化芸術に対する感性や郷土の歴史・文化に対する理解を育む取組を促進します。

<県総合計画 次代を担う人材づくりプロジェクト>

本県の特徴ある文化や優れた芸術などに触れたり、体験したりする機会の充実を図ることで、子どもや若者の豊かな感性や創造性、人間性をはぐくみます。

- ・小中学生や幼児を対象とする群馬交響楽団の移動音楽教室や県立た人づくり美術館・博物館の企画展示など、本県の優れた文化・芸術に直接触れる機会を提供し、豊かな感性や創造性をはぐくみます。
- ・伝統文化の継承活動や文化を通じた地域づくりを支援することで、これらの活動を体験できる機会の充実を図り、人と人とのつながりを大切に思う心をはぐくみます。

【主な施策】

- ・群馬交響楽団による幼児から高校生までもを対象にした音楽教室の実施
- ・小学生や中学生を対象とした伝統文化の鑑賞・体験機会の提供

【目標・数値（H27）】

- 〔群馬交響楽団による幼児から高校生までもを対象にした音楽教室の実施〕
- ・幼児移動音楽教室開催件数 15回

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(1) 次世代を担う子どもたちの育成に関する事業

1,321千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		はじめての文化体験事業	優れた文化活動を行っている県内のアマチュア団体を、幼稚園・小学校等に派遣し、子どもたちの文化・芸術に親しむ機会を提供する。	1,000	【再掲】
2	健康福祉部	国保課		沖縄「群馬の塔」青少年派遣事業	先の大戦において国内最大の地上戦の場となった沖縄へ青少年を派遣し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ。(財)群馬県遺族の会に対し事業費補助。	321	

2 (2) 芸術文化の振興に関する事業—再掲—

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		群馬交響楽団支援	県民の財産である群馬交響楽団を支援し、各種演奏会などの活動を通して県民に音楽に親しむ機会を提供する。	266,468	【再掲】

(2) 芸術家（アマチュアを含む）や文化団体、文化活動を支援する者の育成・支援

○文化活動を行う者の育成等

多様で優れた文化芸術を継承し、発展させ、創造していくためには、その担い手を育てるための環境の整備に取り組みます。

- ・次代を担う新進芸術家が活動成果を発表する機会や世界的な芸術家による指導の機会の充実等を図ります。
- ・大学や専門学校、NPOなどと連携しながら、若手クリエイターに専門的研修や作品発表の場を提供することにより、次代を担う優れた人材を育成します。

【現在の主な施策】

- ・ぐんま新人演奏会の開催
- ・グリーンコンサートの開催
- ・草津音楽アカデミー支援

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(2)ー1 文化活動を行う者の育成等に関する事業

84,886千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		教育文化事業団運営	県民芸術祭等を実施し、県民の文化芸術活動の支援や優れた芸術を觀賞する機会を設ける。	84,886	【再掲】

○文化団体の育成等

文化団体の育成や文化団体が行う文化活動が自主的・継続的に行われ、発展するための支援に取り組みます。

【主な施策】

- ・芸術文化団体等補助事業の実施
- ・文化・芸術事業立ち上げ支援助成の実施

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(2)-2 文化団体の育成等に関する事業

30,800千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		教育・芸術文化団体助成	芸術、文化及び教育の振興を図るため、芸術家、芸術文化団体を実施する事業に対して助成を行う。	30,800	【再掲】

○文化活動を支える活動を行う者及び団体の育成等

ヒト・モノ・地域をつなぎ、県と連携して施策の推進にあたる人材の育成に取り組みます。

・民間の非営利活動や文化ボランティア活動の促進を含め、地域における多様な文化活動の担い手の育成を図ります。

・文化施設や文化芸術団体のアートマネジメント担当者、舞台技術者・技能者、美術館・博物館等における学芸員・各種専門職員など、幅広い人材の養成及び確保、資質向上のための研修を充実させ、文化活動を支える人材の育成を図ります。

・県民の文化芸術活動を支える質の高い文化ボランティア活動を活発にするため、情報提供、相互交流の推進など、環境の整備を図ります。

・文化団体、教育研究機関等が連携し、計画的・系統的な人材の育成を図ります（再掲）。

・子どもたちに文化芸術や伝統文化を指導、助言できる人材の育成や確保を促進します（再掲）。

・県民主体の文化活動の活発化を図るため、文化活動を行う県民や団体をサポートする中間支援機能を担うアートNPO等の取組を支援します。また、アートNPOが活動の幅を広げられるよう、ネットワーク化を促進します。

【現在の主な施策】

・文化づくりコーディネーター養成研修会を活用したネットワークづくりの実施

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(2)ー3 文化活動を支える活動を行う者及び団体の育成等に関する事業

1,518千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課	○	文化づくりコーディネーター養成事業	実践形式の研修会を開催し、文化資源、情報に関する総合的な力を備え、ヒト・モノ・地域をつなぎ、県と連携して施策の推進にあたる人材の育成を図る。	1,518	【再掲】

(3) 文化活動で顕著な成果を収めた者や文化の振興に寄与した者への顕彰

芸術文化の普及・振興に貢献した個人、団体を顕彰します。また、文学における創作活動のうち特に優れた者を選奨等します。

【主な施策】

- ・群馬県文化奨励賞、群馬県文学選奨、県展山崎種二記念特別賞による顕彰の実施

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(3) 顕彰に関する事業

52,443千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		名義後援・賞状交付	事業を行う主催に対し、後援者として「群馬県」の名称の使用を承認し、また、賞状を交付することによって、その開催を援助する。	-	【再掲】
2	生活文化部	文化振興課		芸術文化事業企画 (文化奨励賞)	文化の振興・発展において、特に顕著な功績のあった者及び団体に対し、その功績を称え、もって県民文化の向上に資している。	342	
3	生活文化部	文化振興課		県民芸術祭委託 (県文学賞選奨)	県民の積極的な文化芸術活動への支援と優れた芸術鑑賞の機会を提供し個性豊かで新しい県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典。	52,101	【再掲】

5 文化資産の保存及び活用

本県の「たから」である地域の多様で豊かな文化資産の保存・活用に取り組みます。また、地域における文化資産の価値を再認識し、地域の文化資産を活用した観光・地域振興に取り組みます。

◎ (1) 伝統文化、有形・無形の文化財や歴史的な文書・記録の保存・活用

○伝統文化の継承

地域の絆により、古くから県内各地で伝えられ、守られてきた地域の伝統文化を継承していくための活動を支援を行います。

・地域の伝統文化を映像に記録、公開する事業や伝統文化の伝承者を養成する事業、地域の伝統文化の継承に資する事業、子どもたちに伝統文化を体験・習得させる事業、伝統文化を継承活動を支える活動を行う事業など、地域の実情にあったきめ細かい支援を行います。

【主な施策】

- ・地域の伝統文化を映像に記録する事業や伝統文化の伝承者を養成する事業などを実施する伝統文化を残そうとする団体への補助
- ・伝統文化継承状況の実態の把握、伝統文化継承モデル事業の実施
- ・伝統文化団体や伝承者のネットワークづくりの支援
- ・学校で地元の伝統文化に触れる機会の提供

【目標・指標（H27）】

- ・伝統文化継承事業支援件数 200件（H23～H27の累計）

（参考）平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(1)－1 伝統文化の保存等に関する事業

107,364千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課		伝統文化継承事業	地域の絆により、古くから県内各地で伝えられ、守られてきた地域の伝統文化を継承していくための活動を支援する。	11,700	
2	農政部	蚕糸園芸課		日本絹の里運営	伝統ある群馬県蚕糸絹業の歴史・技術に関する展示のほか、染織等の体験機会を提供し、県民理解を促進する。	93,859	
3	産業経済部	工業振興課		群馬県ふるさと伝統工芸品展示会	群馬県ふるさと伝統工芸品の魅力を多くの人に伝え、理解を深めてもらうため、展示・販売会を実施する。	725	
4	産業経済部	工業振興課	○	群馬県ふるさと伝統工芸品の新規指定及び群馬県ふるさと伝統工芸士の新規認定	群馬県ふるさと伝統工芸品の名声を高め、伝統的工芸品産業の振興を目的とし、工芸品の新規指定及び工芸士の新規認定を実施する。	1,090	

○文化財等及び歴史的な文書等の保存等

有形及び無形の文化財（保存技術を含む。）が適切に保存され、活用されるように、その修復、防災対策、公開などに対する支援に取り組みます。

また、郷土についての歴史的価値がある文書や記録の適切な保存、継承、利活用の推進を図ります。

- ・県民が文化財を理解し、親しむ機会の充実を図るため、文化財の特性や保存に配慮しつつ、文化財の魅力が県民に伝わるよう、文化財の公開・活用を積極的に推進します。

- ・県史や市町村史による地域の歴史を学ぶ機会を提供するとともに、編さん史を活用した取組を支援します。

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(1)-2 文化財等及び歴史的な文書等の保存等に関する事業

295,339千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	環境森林部	自然環境課		尾瀬山の鼻ビジターセンター運営	特別天然記念物である尾瀬の、山の鼻ビジターセンターの管理運営、自然解説、木道等公共施設の維持管理を行う。	10,069	
2	教育委員会	総務課(文書館)		国重文指定文書保存管理	平成22年度国重文指定「群馬県行政文書」(約1.8万点)の適切な管理と利活用を促進する。	3,047	
3	教育委員会	総務課(文書館)		絵図資料のデジタル化	歴史的に貴重な絵図1,909点の恒久保存を計画的に進める。	201	
4	教育委員会	総務課(文書館)		文書調査員会議・現地調査	県内各地配置の23名の調査員が、地域所在の古文書調査や保存に関するアドバイスをを行う。	337	
5	教育委員会	文化財保護課		文化財保存活用	文化財保護審議会の運営や銃砲刀剣類の登録等文化財の保存活用に関する事業を行う。	6,474	
6	教育委員会	文化財保護課		文化財保存管理指導	文化財を良好な状態で保存し、活用に資するため、国・県指定文化財の保存・整備・活用事業へ補助する。	92,067	
7	教育委員会	文化財保護課		埋蔵文化財保護対策	埋蔵文化財を保護するため、開発前に埋蔵文化財の所在や範囲を把握するための試掘調査を行うとともに、最新の遺跡・指定文化財情報を公開する文化財情報システムの整備を行う。	7,458	
8	教育委員会	文化財保護課		幹線交通・ダム文化財調査	公共開発に係る埋蔵文化財発掘調査の調整を行う。	4,686	
9	教育委員会	文化財保護課		埋蔵文化財調査センター運営	埋蔵文化財の発掘調査に伴う出土品を保存管理するとともに、その成果を広く県民に利用してもらう環境を整える。	41,000	
10	教育委員会	文化財保護課	○ 一部	「偲ぶ毛の園」群馬の魅力発掘・発信	古墳総合調査や上野国分寺跡整備等、群馬県が持っている歴史文化遺産の価値を再認識し、県内外に情報発信することで、文化財の保存・整備・活用とともに群馬県のイメージアップを図る。	130,000	

○世界遺産等への登録等

普遍的な価値に係る更なる調査研究などを行い世界遺産登録に向け関係機関への働きかけを行います。
また、世界遺産登録後は、人類全体の財産として適切に保存し、広く活用することにより群馬の文化の発展を目指します。

【主な施策】

- ・ユネスコに提出する推薦書の作成
- ・富岡製糸場や各資産の資料収集や調査・研究の実施
- ・まちづくりの研究
- ・構成資産の国文化財指定に向けた関係機関との調整
- ・普及広報活動の実施
- ・富岡製糸場の周辺整備事業の実施

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(1)-3 世界遺産等への登録等に関する事業

182,000千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	企画部	世界遺産推進課		世界遺産登録推進	富岡製糸場と絹産業遺産群を保全・継承するため、ユネスコ世界遺産に登録するとともに、それらを活用した地域づくりを推進する。	82,000	
2	県土整備部	道路整備課		社会資本総合整備事業	富岡製糸場の世界遺産登録に向けた渋滞解消のための周辺整備(国道254号 甘楽吉井バイパス工事)	100,000	

<県総合計画 地域住民の生活を支える「地域力」強化>

- ・伝統文化の継承活動や自主防犯などの地域活動への支援を通じて、人と人との「絆」で結ばれた新たな地域づくりを推進します。
- ・市民活動の充実や広がりをなおいっそう進めるため、団体や活動のネットワークを強化する取組を推進します(参考)。

◎ (2) 地域の文化資産（伝統文化、文化財、食文化、景観など）を活かしたまちづくりや観光・地域振興
地域における文化資産の価値を再認識し、地域の文化資産を活用した観光の振興などの地域振興に取り組みます。

また、公共の建物等を建築する場合は、周囲の自然的環境、地域の歴史及び文化などと調和を保つように努めます。

- ・群馬の地域に根付いた文化を支援し、群馬ブランドを創造します。
- ・文化力や文化資産を活用した産業振興、ビジネス化（起業化）やコミュニティビジネスの取組を支援します。

<県総合計画 ぐんまイメージアッププロジェクト>

○東国文化の中心・群馬の再認識

古代の東国文化の中心地であり東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、県民の再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用や全国への発信を推進します。

- ・子どもたちをはじめ、多くの県民が本県の貴重な歴史文化遺産を再認識できるよう促し、郷土への誇りと愛着を育みます。
- ・上野国分寺跡などの全国レベルの価値を持つ史跡について、誰もが見に行きたくなるような環境整備を進め、貴重な文化財の保護と活用を図ります。
- ・本県が誇る歴史文化遺産を、群馬の観光資源として磨き上げ、誘客を推進するとともに、リピーターの増加を図ります。
- ・全国に向けた群馬の魅力的な歴史文化遺産のPRに力を注ぎ、イメージアップの推進を図ります。

○その他

- ・絹産業遺産の保存活用に取り組むとともに、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産*登録の早期実現を推進します。
- ・上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）、ぐんま百名山をはじめとした本県の豊かな自然や多彩で魅力的な温泉を活かした地域振興を図ります。
- ・「ぐんまちゃん家」の利活用や民間と連携したイメージアップ宣伝などを通じ、国内におけるイメージアップを図るためのPRを展開します。

○東京から100km圏

我が国の経済活動の中心であり巨大市場を形成する東京から100km圏に位置するなど、地理的立地条件に恵まれています。

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(2) 文化資産の活用に関する事業

55,908千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課	○	東国文化周知事業	古代の東国文化の中心地であり、東日本最大級の百鬼天国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用を図る。	7,000	[再掲]
2	議会事務局	調査広報課	○	議会庁舎展示ホールリニューアル	県議会の歴史や役割等を県民に紹介するための展示ホールを、議会庁舎2階県民サロンの一部を活用してリニューアル整備	7,000	
3	教育委員会	総務課(文書館)		文書目録検索システム	資料のデジタル化公開など新たな機能を付加し、県民の記録資料へのアクセス権を保障する。	1,862	
4	教育委員会	総務課(文書館)		マイクロプリントビューアー	マイクロ・デジタル資料利用者の便宜を図る。	274	
5	教育委員会	総務課(文書館)		古文書講座	一般県民の古文書理解を深めることにより、地域にある古文書の保存と利用を推進する。	155	
6	教育委員会	生涯学習課		視聴覚センター管理運営	視聴覚貸出教材の充実を図るとともに、センターでの視聴、学校や社会教育団体等への貸出を行う。	3,008	
7	教育委員会	生涯学習課		図書館運営	子どもの読書活動の向上を図るための資料を収集し、県民に公開する。	6,003	
8	教育委員会	生涯学習課		地域協力	図書館未設置町村や学校図書館を支援するための資料を収集し、配送する。	3,135	
9	教育委員会	生涯学習課		資料情報サービス	県立図書館に獨逸資料等の様々な資料を収集し、県民に公開する。	27,671	

6 情報の発信及び文化交流の促進

県民の文化活動をより活発にするため文化に関する情報の収集・発信に取り組みます。また、本県が全国に誇る文化資産を県内外に向けて発信します。

◎ (1) 文化に関する情報の収集や発信

文化に関する情報の収集・発信に取り組みます。

・県民、市町村、芸術家、文化団体、NPO・NGO、文化ボランティア等が、県の文化振興に関する施策の内容や、様々な文化芸術に関する情報、専門的知識等を把握することができるよう、情報通信技術など様々な方法を活用して、積極的に提供していくとともに、相談、助言等の窓口機能の整備を図ります。

・市町村、文化団体、芸術家等の情報提供のための取組を促進します。

(2) 文化を通じた地域間交流や国際交流の推進

文化を通じた地域間交流や国際交流の推進に努めます。

・多文化共生を推進します。

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

6 情報発信及び文化交流の促進に関する事業

141,191千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	企画部	企画課		群馬県PRサイト運営	群馬の魅力発信サイトの運営	1,435	
2	企画部	企画課	一部	「群馬の魅力みんなでPR」事業	群馬の魅力を紹介するパンフレットの作成、県民講座の開催、「群馬の魅力」発信委員会の運営	4,083	
3	生活文化部	文化振興課	○	東国文化周知事業	古代の東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳天国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、再認識を促すとともに、観光やイメージアップ等における活用を図る。	7,000	〔再掲〕
4	教育委員会	高校教育課		伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル研究	高校生が、伝統や文化にふれる機会を充実することにより、関心や理解を深める。	600	
5	教育委員会	高校教育課		高校生いきいき文化活動推進	・高校教育での芸術文化活動の総合的なイベントである群馬県高等学校総合文化祭を開催する。 ・高校教育の充実と青少年文化活動の振興を図るため、県高等学校文化連盟へ高校芸術祭の事業を委託する。 ・全国高等学校総合文化祭への生徒派遣及び作品参加に係る補助金を、県高等学校文化連盟へ交付する。	3,591	
6	教育委員会	文化財保護課	○ 一部	「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発掘・発信(再掲)	古墳総合調査や上野園分等跡整備等、群馬県が持っている歴史文化遺産の価値を再認識し、県内外に情報発信することで、文化財の保存・整備・活用とともに群馬県のイメージアップを図る。	130,000	〔再掲〕

7 推進体制の整備

文化振興施策を総合的に推進するため、県の推進体制を整備することや市町村、民間の団体、企業、研究教育機関などとの連携を図るように努めます。また、県民の文化活動が自立的・持続的にを行うことを可能とするための環境の整備などに努めます。

- ・ 県庁内の連携システムの構築、市町村との連携、文化施設間のネットワークづくり
- ・ 個人や企業・団体等が文化活動に対して支援活動を促進するための施策を転換します。
- ・ 文化芸術を支える民間（企業、団体、個人等）の支援を促進するとともに、寄附文化を醸成するための措置を講じます。
- ・ 文化関係者をはじめ、広く県民に対して、文化活動に対する寄附等に関する税制措置の現状、企業等による支援活動の状況、多様な方法による文化活動への支援の事例等について、情報の収集及び提供を行います。

【主な施策】

- ・ 群馬県文化審議会の設置・運営
- ・ 群馬県文化審議会による文化振興行政の評価・検証
- ・ 群馬県文化振興基金の活用による実効性の確保
- ・ 県庁内の横断的な組織の活用
- ・ 文化づくりコーディネーター養成研修会を活用したネットワークづくりの実施
- ・ 群馬版アーツカウンシルの検討

(参考)平成24年度当初予算に係る文化振興施策

(3) 推進体制の整備等に関する事業

2,618千円

番号	部局名	課名	新規	事業名	事業内容	H24年度予算(千円)	備考
1	生活文化部	文化振興課	○	群馬県文化審議会	文化振興に関する重要事項を調査審議し、知事に意見を述べる審議会を運営する。	1,100	
2	生活文化部	文化振興課	○	文化づくりコーディネーター養成事業	実践形式の研修会を開催し、文化資源、情報に関する総合的な力を備え、ヒト・モノ・地域をつなぎ、県と連携して施策の推進にあたる人材の育成を図る。	1,518	

・施策の実施に際して、庁内関係部局との連携を一層推進するとともに、国、地方公共団体、企業、芸術家等、文化団体、NPO・NGO、文化ボランティア、文化施設、社会教育施設、教育研究機関等が、それぞれの役割を明確化するとともに、相互の連携強化を図ります。

・文化芸術と教育、福祉、医療その他の分野の連携により、地域で人々が様々な場で文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるよう、芸術家等及び文化団体と、学校、文化施設、社会教育施設、福祉施設、医療機関等との間の協力の促進に努めます。

○文化振興基金の充実

基金のためのPR活動を積極的に展開し、群馬県文化振興基金の財源の確保、充実を図ります。

○（公財）群馬県教育文化事業団との連携

（公財）群馬県教育文化事業団は、本県文化振興の中核的推進主体として幅広い事業展開を行っていることから、事業団と連携、協力しながら効果的な文化振興事業の推進を図るとともに事業団の機能強化に努めます。

○群馬県文化協会との連携

群馬県文化協会は、本県文化の中核的な活動主体として様々な文化団体と連携し、県内各地域で文化祭を開催してきていることから、県文化協会と連携した文化振興の取組の強化に努めます。

○社会を挙げての文化振興

文化は、まずもって活動主体の自発性と自主性が尊重されなければならない、その上で、活動主体や地域の特性に応じたきめ細かい施策が必要であり、県には、それぞれの地域の実情を踏まえた、特色ある文化振興を支援していくことが期待されています。

企業のメセナ活動や、活発化しつつあるアートNPOによる活動をはじめ、個人、企業、NPO・NGOを含む民間団体等による自発的な支援は、本県の文化振興にとって不可欠であり、「新しい公共」の担い手としても、それらの自立的な活動が一層促進されることが望まれます。

○県民一人一人が文化を支えていく環境を醸成し、文化の享受、支援、創造、保護・継承のサイクルが実現する社会が求められています。文化振興の意義に対する県民の理解の上に、個人、企業、NPO・NGOを含む民間団体、地方公共団体、国など各主体が各々の役割を明確化しつつ、総合に連携強化を図り、社会を挙げて文化振興を図る必要があります。